

文献情報									
表題・資料名									
Contribution of different sources to the hydrocarbon pollution during a rain event at the scale of an experimental catchment in Paris centre									
部会	G1	文献ID	R0111	観測ID	S002	公表年	2004		
著者名									
Ana Gonzalez, R?gis Moilleron, Ghassan Chebbo, Daniel Thevenot									
収録雑誌名									
Urban Water Journal									
巻号	1			ページ	263-273				
分類と目的									
都市		農地		林地		流域		その他	
目的									
降雨時の多環芳香族炭化水素等の流出量の調査									
コメント・特記事項									
庭からの流出量の調査									
地点情報と流域情報									
地名									
Le Marais catchment									
都道府県	フランス、パリ市			標高(m)		水系			
経度				緯度					
形状係数		平均勾配	0.84%	流域面積(ha)	42	流路延長(km)		河川次数	
土地利用情報									
都市									
農地									
林地									
その他									
時期と調査方法									
観測期間	左記の間の19降雨イベントを調査								
観測開始日	1994/xx/xx								
観測終了日	1999/xx/xx								
水質観測頻度	自動センサー等での間隔								
採水頻度									
流量観測頻度									
採水方法					流域観測方法				
実測値		マニュアル							
観測値(第三者提供)		自動採水器							
モデル等推測値		その他							
その他									
降雨時調査									
調査実施									
観測イベント	19								
最小雨量(mm)									
最大雨量(mm)									
気象情報									
実測		方法		場所		アメダス地点			
観測値の利用		提供機関		観測地点		アメダス地点			
モデル等推測		モデル名		コメント					
その他									
対象物質									
N		P		有機物			その他		
全窒素(TN)		全リン		T-COD(Mn)		SS			
溶存態窒素(DN)		溶存態リン		D-COD(Mn)		濁度			
硝酸		リン酸態リン		TOC		重金属			
亜硝酸									
アンモニア									
その他		その他		その他		その他			

文献情報							
表題・資料名							
Contribution of different sources to the hydrocarbon pollution during a rain event at the scale of an experimental catchment in Paris centre							
部会	G1	文献ID	R0111	観測ID	S002	公表年	2004
著者名							
Ana Gonzalez, R?gis Moilleron, Ghassan Chebbo, Daniel Thevenot							
収録雑誌名							
Urban Water Journal							
巻号	1	ページ	263-273				
原単位							
窒素-数値				単位			
原単位の求め方							
リン-数値				単位			
原単位の求め方							
有機物-数値				単位			
原単位の求め方							
TOC-数値				単位			
原単位の求め方							
SS-数値				単位			
原単位の求め方							
その他-数値	2か所の庭で採水D RAHs: (9, 272)P RAHs: (6, 456)P...			単位	μg/L		
原単位の求め方							
一定間隔で採水、濃度計測。4か所それぞれの地点で10%値、50%値、90%値を算出。このエクセル表では4か所における10%値の最小値、90%値の最大値を示している。							
その他・備考・コメント							
原単位（結果）はそれ以下の値となるサンプル数が全体のサンプル数に占める割合が10%のもの(10%値)、50%のもの(50%値、中間値)、90%のもの（90%値）である。							

日本水環境学会 (2013) 非特定汚染源からの流出負荷量の推計手法に関する研究
注：データを引用する際には必ず元文献をご確認ください。